



いそだ長岡市長、米山新潟県知事 誕生 原発再稼働を許さぬ市政・県政へ



長岡版

発行編集
長岡民主商工会
長岡市中沢167-1
☎ 33-5948

2016年
10月24日
第1833号

この度の選挙に引き続き、柏崎市長選(11月20日投票)が行われます。柏崎市の知り合いに、原発再稼働に反対する候補者への投票を呼びかけましょう。

激しい戦いとなった長岡市長・新潟県知事選挙は、いそだ達伸候補・米山隆一候補がそれぞれ当選を果たし、私たちが推す市長・県知事の誕生となりました。ご奮闘、大変お疲れ様でした。ご支援、本当にありがとうございました。最高の結果を喜び合ひましょう。

とくに県知事選では、7月の参院選に続き、市民と野党の共同によって自公が推す候補に勝利しました。市民と野党が力を合わせれば政治の流れが変わることを、新潟県から全国に示しました。

今回の選挙は市長選・知事選ともに原発再稼働の問題が最大の争点となっていました。

いそださんは「市民の不安が解消されない限り、再稼働すべきでない」との考えを示し、米山さんも「国から、再稼働を認めるのか認めないのかと問われたら、認めないと答える」と公約。

当選後も「認められない」と強調しています。ある報道機関の調査によると、再稼働反対が73%と、再稼働賛成の27%を大きく上回り、市民の声が歴史的勝利の源となりました。

しかし、これで問題が終了したわけではありません。今後、政府や再稼働推進派の攻勢が予想されます。引き続き再稼働反対の声を上げ続けることが必要です。

現在、民商は秋の運動の真っ最中です。私たち中小業者の切実な声を新市長・新知事に届けるためにも、知り合いに署名を広げましょう。今後とも力を合わせて、ともにがんばりましょう。



米山隆一・新知事



いそだ達伸・新長岡市長

拡大行動と報告会 婦人部

婦人部は10月11日、全婦協総会に向け拡大行動(婦人部入部のおさそい)を行いました。訪問したあるお宅で「仕事が少なく、くらしが大変だ」というお話を聞きました。これに対し、役員さんが自身の経験を語ると話が弾み、要求の掘り起こしとなりました。「ご不在が多く、残念ながら拡大には結びつきませんでした。」「会って話す」ことが婦人部運動の基本であることを改めて認識しました。

さらに婦人部は18日、原水禁世界大会・日本母親大会報告会を行いました。参加者は8人。お昼を食べ、さくばらんに話し合いました。「原水禁世界大会は海外からの参加者が大勢いた。世界各国で核兵器反対の署名・募金活動が行われている」という報告がありました。平和・核兵器禁止は世界の共通の願いとなっていることを裏付けます。また、「日本母親大会に参加すると、『よいし、がんばろう』という意欲が湧くよね!」という声が上がりました。社会はすくには変わらない、紆余曲折がある。でも、がんばることが大切と学びました。



受診しましょう! 大腸がん検診

既報のとおり、今年も11月6日(日)・7日(月)に大腸がん検診を行います。声をかけ合って受診しましょう。「病気が見つかるのが怖い」と思っている方はいませんか? 本当に怖いのは、病気であるのに病気が見つからないことです。また、「昨年受けたから、今回は受けなくていい」と思っている方はいませんか? 早期発見・早期治療が大切です。何度でも受診しましょう。受診料は540円、共済会員は無料です。みんなで受診しましょう。